

令和7年度第1回苫前町まちづくり審議会 議事録

日 時：令和7年10月10日15:00～16:05
場 所：苫前地区コミュニティセンター 大会議室
出席委員：渡部会長ほか10名（欠席委員9名 うち決議書提出5名）
苫 前 町：福士町長
総合政策室 加賀谷室長、戸川係長、井上主任

1 開会

加賀谷室長

それでは、ご案内の時刻になりましたので、ただ今から令和7年度第1回苫前町まちづくり審議会を開催いたします。

改めまして、総合政策室の加賀谷でございます。

しばらくの間、進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

2 挨拶

加賀谷室長

それでは、次第に従いまして、はじめに、福士敦朗苫前町長から、ご挨拶を申し上げます。

福士町長

皆様、ご苦勞様でございます。今日は大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。町長といたしまして、一言ご挨拶を申し上げたいと存じます。

令和7年度の第1回苫前町まちづくり審議会に、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。また、皆様方におかれましては、町行政全般にわたりまして日頃らご支援とご協力をいただいておりますことに、改めまして心から感謝申し上げる次第でございます。

さて、先日、政権与党である自民党総裁選挙が行われて、新たな総理大臣が指名される予定となっております。先ほど来から、自民党総裁と公明党の代表が協議をしております。

私は、いつも職員には言っておりますが、中央の動きが今自治体に直結する時代になっておりますので、今日の朝の課長会議のときにも、この動きをしっかりと捉えて、これから国の形がどうなるのか、よく、地方自治体とはいえ、皆さんもそうですけれども、職員もしっかりと、その辺は、足元を見ながら進んでいてもらいたいということは、常に言っているところでありますが、今、ちょうど協議をしているそうです。公明党が連立を離脱するのか、一緒にやるのか。まさにそれで、この国の形が変わるべきだという風に、私は認識をしておりますけれども、夕方には決まるのではないかと思います。

いずれにしても、しっかりとした政権基盤で、この地方自治体に影響無いように、常に中央がしっかりした政権で、農業政策も漁業政策も商工政策もですね、やっていただきたいものだなと思っているところでございます。

そういった、国や北海道の施策の動向を的確に捉えて、当町が持っているこの可能性やポテンシャルを最大限に発揮をいたしまして、将来にわたって持続可能なマチとなるように、委員の皆さんをはじめ、地域の皆様との対話、議論を大切にしながらまちづくりを進めてまいりたいと考えているところでございます。

本審議会は、重要な任務の一つとして、苫前町総合振興計画に関する調査、審議を行うところでございまして、今年度、新たに策定を予定しております、第6次の苫前町総合振興計画について、お諮りをしたいと思っているところでございます。

申すまでもなく、この苫前町総合振興計画は、本町の将来像を示す最上位の計画でございまして。将来の基本的な方向性を定める極めて重要な指針でございまして。各分野における施策や取組は、全てこの計画に基づき、総合的かつ計画的に推進されることになっているところでございます。

今日は、行政と住民をつなぐ架け橋として、委員の皆様のお知恵とご経験をお借りしながら、次期計画の方向性をともに描いてまいりたいと考えているところでございます。

本日の会議では、後ほど事務局から詳しく説明申し上げますが、まず、現行計画の進捗状況の確認や評価をお願いいたしますとともに、新たな総合振興計画の策定に向けたスケジュールについてご提案を申し上げます。

さらに、本日より、令和9年6月末までの任期で、会長及び副会長の選出をいただく予定になってございますので、よろしくお願いを申し上げる次第でございまして。

今後とも、住民目線での忌憚のないご意見をお寄せいただきまして、町政発展のためにお力添えを賜りますようお願い申し上げ、また、本日ご出席の皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げて、私からのご挨拶に代えさせていただきたいと存じます。

本日は、どうぞよろしくお願い申し上げます。

加賀谷室長

福士町長でございますが、この後、別の用務がございまして、ここで退席をさせていただきます。

(福士町長退席)

3 議事

加賀谷室長

それでは、議事に入らせていただきますが、この会議の議長となる、審議会の会長が互選されますまで、引き続き、私が進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

では、議案第1号「会長及び副会長の互選について」でございまして。

議案第1号に記載のとおり、条例の定めに従い、会長、副会長をそれぞれ1名、委員の皆様の互選により、選出をいただきたいと存じます。

立候補や推薦などございましたら、ご発言をいただきたいと存じますが、いかがでしょうか。

(立候補、推薦等無く、「事務局案を」との声)

それでは、僭越ではございますが、事務局から、会長に渡部和人委員、副会長に平田日出男委員を提案させていただきます。

(賛同の声、両委員から承諾の意思表示あり)

それでは、会長に渡部委員、副会長に平田委員ということで、改めて、委員の皆様のご確認、ご承認をいただいたということで、決定とさせていただきます。

お二方には、改めまして、どうぞよろしくお願いいたします。では、恐れ入ります、会長となりました渡部委員には、前のほうへお願いいたします。

(渡部会長が議長席に移動)

渡部会長

改めまして、ただ今、皆さんからご推薦ということで、令和9年6月末日までという任期で会長を務めさせていただくことになります。どうぞ皆さんよろしくお願いします。

先ほどの町長からもお話ありましたとおり、総合振興計画は、苫前町の最高規範という形になっています。中身については、各課長が指導しながら、優秀な職員たちが作ったものでありますが、どうしても見落としがちになっているものとかもあると思いますので、今日、各団体からそれぞれ責任ある立場の方が来られて、委員となっております。その中で、文言のことも含め、見直して行き、これを次につなげて行ければ良いなと思ってますので、どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、議事に入らせていただきます。

議案第2号「第2期苫前町まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績報告について」につきまして、事務局から説明をお願いします。

加賀谷室長

議案説明の前に、私から、本日の会議の成立についてご報告させていただきます。この会議でございますけれども、委員の過半数の出席が会議成立の条件となっておりまして、今現在、9名の出席となっておりますが、欠席予定の方のうち5名の委員から、今回の議事に関する賛否をいただいてございますので、合わせて過半数を越えますので、会議が成立していることをご報告させていただきます。

なお、本日出席予定であった古村委員は欠席とでございまして、加藤（隆）委員につきましては、遅れて出席する旨、確認が取れてございますので、申し添えます。

戸川総合政策係長

(議案説明)

渡部会長

それでは、ただ今の説明に対しまして、何かご質問などはございませんでしょうか。
(なしの声)

それでは、議案第2号についてはご承認いただいたものとして決定させていただきます。

次は、議案第3号「デジタル田園都市国家構想交付金事業の実績報告について」につきまして、事務局から説明をお願いします。

戸川総合政策係長

(議案説明)

(議案説明中に、加藤(隆)委員が到着)

渡部会長

ただ今の説明に対しまして、何かご質問はございませんでしょうか。

私から、よろしいですか。以前、「デジ田」って呼んでいたものの名前が変わったということかと思っていたのですが、そのあたりを教えてくださいませんか。

加賀谷室長

はい、令和6年度の途中から、石破政権が誕生したときに、地方創生から10年経ったということで、「地方創生2.0」と銘打って、昨年の秋から色々と取組が始まりまして、この令和7年度から、交付金の事業名が「デジタル田園都市国家構想交付金」から、「新しい地方経済・生活環境創生交付金」へと名称が変わっています。

ですので、来年度以降は、その新しい名称での実績報告、という形になろうかと思っています。今現在は、まだ、その名前が出てきていないということになります。

渡部会長

ありがとうございます。ほか、皆様から何かございませんでしょうか。

はい。千葉委員、どうぞ。

千葉委員

資料2枚目の高校の事業ですが、支出実績の内訳で、その他の業種とは、何に当たるのでしょうか。

加賀谷室長

こちらの800万円ほどは、高校の寮の運営費に充てられています。高校の寮の運営については、指定管理制度が導入され、委託のような形式で行われていますので、他の業種には当てはまらないということで、その他に分類されています。

渡部会長

ありがとうございます。他に何かございませんでしょうか。

L I N Eのアカウントのことでもよろしいですか。報告では、登録が700人くらいですね。

加賀谷室長

この7年3月末で737人で、この後、4月に入ってから、先程の説明でも申し上げましたオートキャンプ場の予約方法をL I N Eに切り替えたことで、町外の方の登録数が伸びています。春の段階で、2,000人を越えるくらいまで行きまして、で、その後も、色々なプロモーション活動の中で、L I N Eのお友達登録のキャンペーンなども取り組んでいまして、現在は、町内の方はおそらく300人ほど、人口の1割程度ではあるのですが、町外の方も含めると、5,000人を越える登録をいただいています。

もう一点、高校生の通学バスの定期券購入の補助金について、公式L I N Eを使って、L I N E上で完結できるようにしました。対象になるのは、生徒さん30人前後なので大きな数ではないのですが、少しずつ、そのような形でデジタルを使った取組も行っているところです。

L I N Eに関しては、ぜひ、皆さんのアイデアや色々のご意見を、今日に限らず、何かありましたら、お伝えいただくと助かります。

渡部会長

ありがとうございます。

アンケートの中にもありますが、今日は町内会のお二人の委員に参加していただいていますけれども、訃報のお知らせ、羽幌町では放送かかってますよね。

加賀谷室長

訃報のお知らせ、今回アンケートの中で意見としてあったのですが、システム上、実現は可能です。

お友達登録された方はご存知かと思いますが、最初に「受信設定をしてください」ということで、「町内、町外どちらにお住まいかですか」「町内であれば、どこの地区にお住まいですか」と、登録ができます。登録をいただいて、例えば、町内会の回覧やお知らせなどを、町内会の方限定で届けるということが可能です。

本町が採用しているシステムを導入している自治体の中には、行政だけではなく、いわゆる町内会、自治会の方にも管理用のアカウントを持ってもらって、町内会の会員さんの連絡にも使えるような形で運用しているところがあるようです。ですので、イベントですとか、町内会の集まりがありますよ、というお知らせも当然できますし、町内会の中でお亡くなりになられた方の情報を流すといったことが可能です。

ただ、お悔やみ情報については、最近、新聞のお悔やみ欄に載せない方、終わったことの連絡だけという方などもいらっしゃるのでは、各町内会でも色々な考え方、捉え方があろうかと思いますが、多少の整理は必要かと思います。

渡部会長

従来の、特に回覧については、各戸配布ではないので、見て、メモでもしておけば良いのですが、LINEの通知であれば、後で確認することができますよね。なので、LINEで送ってもらった方が良い人は、その方が良いのでは、と思いますが。

加賀谷室長

例えば、通常の印刷して回覧を回付するだけではなくて、同時並行的に、LINEの方でも同じように配信する、というのは、一手間加えるだけに近いので、どちらでも見ることができますので、「そう言えば前に配信来てたな」とか、回覧ですと、地区によっては3週間とか1か月近くかかってしまうようなところもありますので、余裕を持って会議やイベントのご案内をすることも多いのですが、そうすると、おっしゃられるとおり、かえって忘れてしまうといったようなことも生じますので、改めて、適切なタイミングでの周知がLINEだと可能ですから、今後、各課とも協議しながら、実現していきたいと思います。

渡部会長

大井委員、平田委員、今、回覧の話になったのですが、各町内会からのご発言などがありましたら、お願いします。

大井委員

苦前の場合、今、以前の毎週配布の回覧を復活してくれ、という、中には、高齢者になると思うのですが、そういう話が出ています。新聞も取っていないから、と。

加賀谷室長

毎週の回覧配布の負担軽減という意味合いが大きかったので、難しいところではありますが、そういったご意見もある、というのは承らせていただきます。

千葉委員

できれば、お年寄りの方は、小型の家庭用端末のようなものを、電話の横とかに置いても見やすいのかなという気がします。私も、遠別の実家にあって、たまに見てみると、こういった情報が、ただ流れてくるだけなのですが、結構便利です。

加賀谷室長

防災無線の戸別受信機は、音声のみですが、モニター付きで、回覧などのデータが見られるといったものでしょうかね。緊急時には避難情報などが流れてくるけれど、普段は、町のお知らせなどが届く、そういった設備も検討の余地はあろうかと思います。

渡部会長

そのほか、議案第3号についてはよろしいでしょうか。

では、ご承認いただいたものとして決定させていただきます。

次に、議案第4号「第6次苫前町総合振興計画の策定に向けたスケジュールについて」の説明をお願いします。

加賀谷室長

(議案説明)

渡部会長

ただ今の説明に対しまして、ご質問などございますでしょうか。

一点、私の方から、資料の一番下、「温暖化対策実行計画」について、詳細をお聞かせ願います。

加賀谷室長

いわゆる温暖化対策、CO₂削減という流れの中で策定している計画でして、行政分野に関わるものは、今までも策定しているのですが、もう一つ、住民の皆さんと地域の中でどの様なことに取り組んでいくか、というところの計画についても、策定が求められています。

例えば、我が町であれば、風力発電事業の益金を使って、LED化の補助金制度を実施しているのですが、その様な取組や事業などを、計画としてしっかり取りまとめ、整理しておくというところを担当として考えているところです。

今後の議論としては、例えば、住宅の断熱改修のように、エネルギーを使わない、高性能の住宅に変えることに補助金をつくるですとか、色々と考えられると思うのですが、そういった取組が、この後、総合振興計画の議論の中でも出てくると思いますので、そういった取組を、温暖化対策の取組として一つの計画にまとめたものを策定して、苫前町の今後の新たな取組などのプラス材料して行きたいと考えております。

温暖化対策実行計画として、別立ての計画となろうかと思いますが、特に、一般家庭から出るCO₂の量をどのくらい削減する目標であるだとか、農業、漁業、商工業といった産業部門からの排出量も減らしていこうだとか、その様な数値目標含めて、まさに温暖化対策に特化した形での、新たな計画策定になってまいります。

渡部会長

説明にありましたとおり、総合振興計画は、ある程度事務方でしっかりしたものを作って、その上で私たちの方でチェックする、そして、それを議会に出すという形になって行きます。それに伴って、町の施策を整理していくという形になりますので、なかなか中身の濃い資料で、自分の専門分野ではないものも結構あると思いますけれども、その点をご承知おきいただいて、町の道筋の計画を立てていくということで、委員の皆様には、どうぞよろしくお願いしたいと思います。

では、ご意見等はないでしょうか。
はい、花井委員、どうぞ。

花井委員

地方創生やまちづくりの議論の中で、「地域へ人を呼び込む」という話がありましたので、少し紹介させてください。るもい農協として、神宮球場でイベントを開催して人を呼び込むようなことをやっていますし、今月の25、26日には、東京競馬場でもその様なイベントをやって、この苫前町を分かってもらう様なことをやっています。

結構評判が良くて、ふるさと納税の方にも多少は貢献しているのかなという事業も実施させてもらっています。また、人材、雇用については、マイナビさんと提携しまして、求人ですとかも含めてやっていこうということで、今、動いていますので、イベントを通じて、「行ってみたよ」という人も結構増えてきている様なので、関係人口を増やしていければなと思っています。

それともう一つ、今、クマが相当出没しているということで、罌獅子舞の取材が非常に増えました。この15日にも、テレビ朝日の取材が入ってきます。三毛別の復元地、郷土資料館を取材して、11月7日にテレビ番組で、この取材と、罌獅子舞の映像が流れることになっています。その他にNHK札幌からの取材も入っていますので、なんとか良い意味でのアピールができるようにして行きたいと思っていますので、よろしくお願いします。

渡部会長

そのほかは、よろしいですか。

それでは、議案第4号についてはご承認いただいたものとして決定させていただきます。

4 その他

渡部会長

本日の議事は以上でございますが、委員の皆様から、「その他」ということで、何かありませんでしょうか。

それでは、事務局からは、何かありますか。

加賀谷室長

事務局からは、特にございません。

5 閉会

渡部会長

それでは、以上をもちまして、本日の会議は終了といたします。
ありがとうございました。